

北八ヶ岳山行報告

【山城】北八ヶ岳・

【日程】2016年3月12日晴れ13日晴れ時々曇り

【メンバー】CL室、SL田中、西岡、堀内、石橋、井上里、鈴木愛、澤田路、富樫富、清野、安岡、会員外（永田）

【行程】

1日目：千葉（わが家）5:20ー室さんPUー中央道（双葉）全車合流 スズラン峠 10:50

➡ 12:15 ロイヤルヒルSKI場頂上 12:30➡13:15 アルピオレ 14:15 駐車場

➡ 11:10 フュッテアルピオレ ➡ 11:25 八子ヶ峰（1860m）➡ 12:15 ロイヤルヒルSKI場頂上 12:30➡13:15 アルピオレ 14:15 駐車場 ➡ ホテル

2日目：ホテル 北八ヶ岳ロープウェイ（ピラタス）山頂駅（2237m）坪庭自然園 9:50 ➡ 10:20 北横岳フュッテ ➡ 10:40 北横岳（2480m）下山 ➡ 11:45 縞枯山荘 縞枯山（2403m）➡13:00 展望台（往復）下山 ➡ 14:05 ロープウェイ山頂駅 麓駅 帰葉

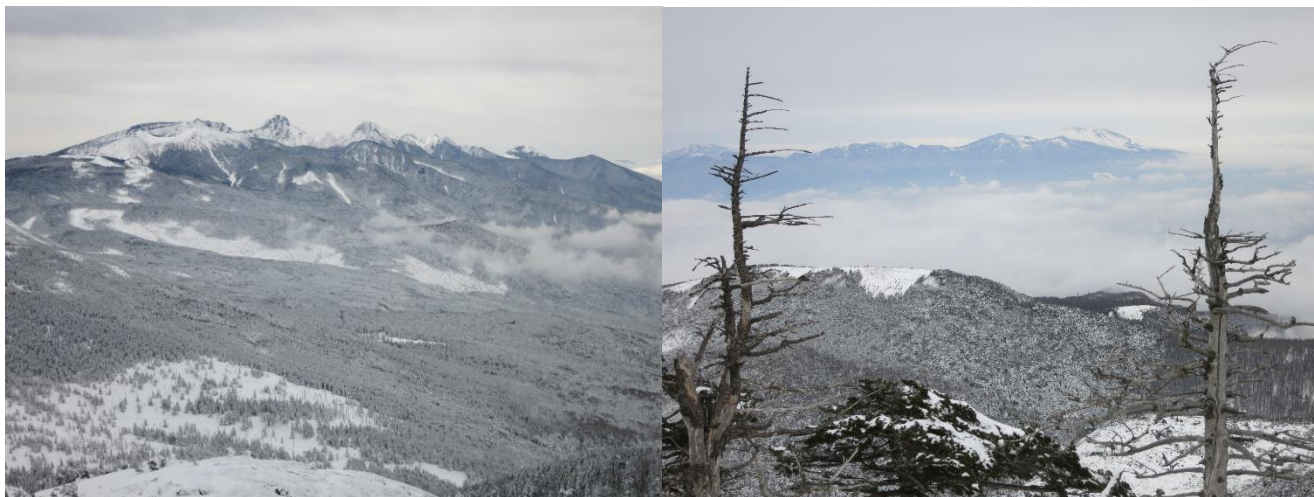
スズラン峠の蓼科山登山口の駐車場は、到着した10:30頃は、登山客の車でほぼ満杯状態だったが、何とか3台バラでとめる事ができた。例年であれば、かなり雪が深く、カンジキや10本爪アイゼンが必要かもしれない時期だが、今年は雪がすくなく、軽アイゼンもつけずに登り始める。先週の雪で積もったのか樹氷となった木をすり抜けながら登るとほどなく冬季は閉鎖中のフュッテアルピオレ到着、ちょい休憩したあと、なだらかな雪道を45分程で八子ヶ峰（1860m）に到着。記念撮影。そこから西の白樺湖方面へのご機嫌スノウハイク、1時間弱で白樺湖ロイヤルスキー場のリフトトップに着く。稜線の風を避けて少し下の斜面で立ちながらの休憩ランチ。20分程の休憩で往路を戻る。天気は悪くなかったが山に雲がかり、展望はいまいち。14:00過ぎに駐車場へ戻った。冬は早めの宿入りが一番。3時ころのチェックインを目指して女神湖へ移動。初日は、ホテルの御馳走を頂く。たまには、リッチな山行きもいい。





翌日も良く晴れて気持ち良い朝。ピラタスロープウェイ麓駅（1771m）では、頂上がマイナス9度の表示、やはり雪は少なくとも冬の雪山である。麓（1771m）から山頂駅（2237m）標高差466mを7分で駆け上がる。規則正しい樹林帯の雪が樹氷の世界を作り永遠と先まで続いている。絶景の写真を撮っているとあっという間に山頂。靴紐を締め直し、今日もアイゼンなしでスタート。約1時間で北横岳フュッテへ到着。さすがに天気の良い日曜日でフュッテ前は大勢のスノウハイカーでランチをしていた。ちょっと休んで15分程で山頂。さすがに
軽快に下山し坪庭の北側で左折し縞枯山荘方面へ。またちょっと平らな道を東へ行くと縞枯山への登山口で右折。ここからは、急登が始まる、雪の重さで倒れた木が登山道をふさぎ迂回しながら登る。さすがにそろそろ疲れが出て来る頃、ようやく縞枯山の山頂に到着。展望もスペースもなくここが山頂か？という感じ。展望が良いとされる展望台まで20分位トラバース。この展望は、2日間の中でも一番、風もさほど出なく、しばし雄大な白銀の世界を楽しむ。記念撮影をして、きた道に戻る。





山頂から平坦になる所まで優斜面をあえてアイゼンを外してツボ足で滑りながらの下山練習をした。雪の負荷さと滑りやすさがばっちりツボ足とマッチングしてずるずるずー、ずるずるずーと小気味よく滑り降りを楽しんだ。あとは、のんびり平坦な道を歩いて頂上駅へ。下りのロープウェイも雄大な景色の写真をと仕納めながら駐車場へと降りた。

天気に恵まれ、比較的楽ちんなスノウハイクを2日間楽しんで帰葉した。 了